

「Benesse=よく生きる」を理念に 時代を先取りしてきた歩み

1955年に「教育の福武書店」として創業して以来、ベネッセグループは、社会課題の解決に取り組むなかで新たな市場の開拓や事業領域の拡大を進めてきました。世界中の人々の「よく生きる」の実現を目指して、これからも誠実に事業に取り組み、着実に成長を続けていきます。

1950~1960年代

模試事業へ参入、 全国規模へ拡大

1955

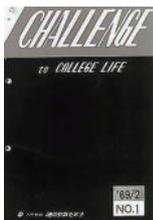
(株)福武書店として岡山で創業
中学生向け図書や生徒手帳の発行を開始



福武書店設立当初の
主要商品

1962

高校生向け模擬試験を開始
(現「進研模試」)



「進研ゼミ高校講座」
創刊号

1969

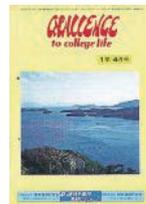
高校生向け通信教育講座を開講
(現「進研ゼミ高校講座」)

1970~1980年代

通信教育講座「進研ゼミ」を拡大

1972

中学生向け通信教育講座を開講
(現「進研ゼミ中学講座」)



「進研ゼミ中学講座」創刊号

1980

小学生向け通信教育講座を開講
(現「進研ゼミ小学講座」)



「進研ゼミ小学講座」創刊号

1988

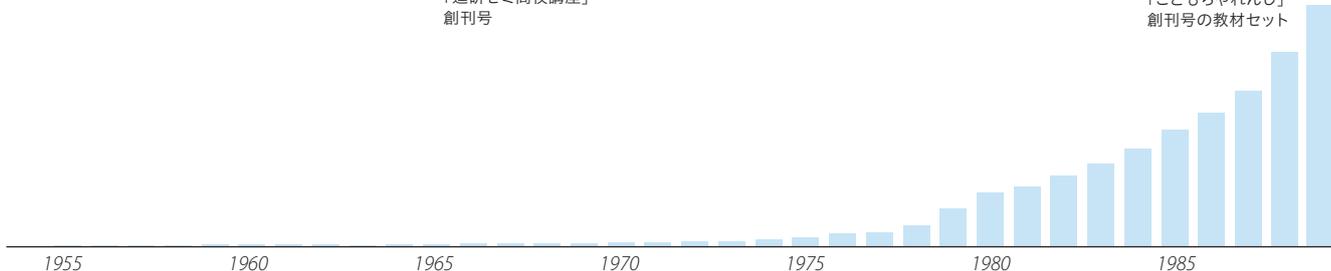
幼児向け通信教育講座を開講
(現「こどもちゃれんじ」)



「こどもちゃれんじ」
創刊号の教材セット

1989

台湾で幼児向け通信教育講座を
開講



創成期

「建物のない学校をつくりたい」との思いから岡山県内などの高校を対象に開始した模試事業。複数データを交換し合う合同模試や、営業担当者の地道な活動によって、先生方と信頼関係を築き、採用校は全国に拡大しました。

進研ゼミ拡大期

高校講座に続き、中学講座、小学講座、幼児講座を開講。通信教育市場が顕在化していないなか、新たなコンセプトの商品で自ら市場を開拓し、会員数を拡大していきました。1989年には台湾への進出も果たしました。

「変革と成長」に挑戦

2000年代～現在

教材の次世代化と
グローバル展開を加速

2000
東京証券取引所市場
第一部に株式上場

2006
中国で幼児向け
講座を開講
学習塾事業に進出
(株)お茶の水ゼミナールを子会社化

2008
「進研ゼミ」の次世代化をスタート
「進研ゼミ中学講座+i」
を開講

2009
持株会社体制に移行、
(株)ベネッセホールディングスに
社名変更

2014
情報漏えい事故が発生

2017
中期経営計画
「変革と成長
Benesse2022」
を発表

2018
GTECが
民間試験に認定
(2020年度からの
大学入学共通テストの
英語4技能を
測る試験)

売上高
6,000億円
2022年度
成長イメージ

1990年代

「Benesse」を企業理念
に事業領域を拡大

1990
フィロソフィ・ブランド
「Benesse」を発表



「Benesse」発表時の
新聞広告

1993
語学事業に進出
ベルリッツインターナショナル
(現ベルリッツ・コーポレーション)
を子会社化



買収時の調印式

妊娠・出産／育児
雑誌を創刊
「たまごクラブ」
「ひよこクラブ」

1995
(株)ベネッセコーポレーションに
社名変更

大阪証券取引所市場第二部に
株式上場

介護事業に進出
「ベネッセホームくらら岡山」
1997年開業



岡山市門田屋敷
「ベネッセホームくらら岡山」



事業領域拡大期

「Benesse=よく生きる」の企業理念のもと、グローバル化や少子高齢化という時代の流れを見据えて事業領域を拡大し、「教育の福武書店」から人の営みを軸とする総合企業へと進化を遂げました。

さらなる成長へ向けて

中国での事業展開を強化するとともに、デジタル化の加速、塾事業への進出など、多様な学習ニーズに対応してきました。中期経営計画「変革と成長 Benesse2022」を推進し、今後さらなる成長を目指していきます。